2016年2月3日提出

申請年度		2015年度	(平成 27 年度)	
所属学科	教育福祉心理学科	報告者・職 氏名	教授 陸	君
海外出張内容(種別に〇)	目的: The 14th Hawaii International Conference on Education・ 学 会January 3~6, 2016に参加と口頭発表するため・ 会 議			
	訪問国・地域: 米国・ハワイ		助成額 300,000 円	・ 調 査 ・研修/セミナー
期間	2016年1月2日(土) ~ 2016年1月8日(金) 5泊7日			
上記出張期間 の研究・調査 等活動経過	1月2日(土)・・・ 京都→ 東京駅→ 羽田空港→ ホノルル空港			
	1月2日(現地)・・ 学会会場のホテルに到着, 到着手続き・場所確認など			
	1月3日(日)・・・ 学会に参加			
	1月4日(月)・・・ 学会に参加			
	1月5日(火)・・・ 午前:9:45~11:15 口頭発表,午後:発表の聴講			
	1月6日(水)・・・ 学会に参加			
	1月7日(木)・・・ ホノルル空港→ 日本			
	1月8日(金)・・・ 成田空港到着→ 東京→ 京都			
研究・調査発表等概要	students pass Band 4 test after two years' study, with a vocabulary ability of 4,200 words,			

## 「京都文教大学海外学術研究助成金」交付による海外出張報告書(2頁)

## universities don't study out of class; it is not rare to see that many students can't voice their opinions 研究・ well or read efficiently, not to say read those original professional books in their senior years. What are the causes for this English teaching situation? What are the key steps we have to take to 調査発表等概要 solve these problems? The following paper aims to examine the characteristics of English language acquisition from the viewpoint of curriculum design, reading materials, and vocabulary building for improving students' English ability as a key point for using English Keywords: textbooks, vocabulary, goal-bound-curriculum □ 今回の国際教育学会への参加により、各国の研究者の取り込みを聴講し、素晴らしい勉強が 研究・調査発表等々の成果の概 できた。特に、諸外国の子どもから大学生までの教育改革実例について、自分の授業にとても 参考になった。 □ 特殊な専攻の体育大学の学生に、どうやって英語の学習意欲を沸かせるか、2020年オリンピッ クに向けての資料準備と訓練の工夫が印象的だった。 □ 体が不自由な学生、特に耳と発声に障害を持つ学生に、どうやって英語教育を行うのかに ついて、プロの教授法を学んだ。これからの授業に取り入れる工夫をしていく。 □ クラスにおける外国育ちの学生の扱い方法も、経験豊富な研究者から伝授され、自信を高めた。 雑誌論文: 日本大学英語教育学会 (JACET) 2016 年秋版 60 号、または JACET KANSAI 紀要の秋版 2016 研究 年 18 号に投稿する予定。 ・調査等の成果発表予定 授業時の活用: 4 月からの英語リーディング授業と小学校英語活動の授業で、学会で得た教育現場 での新たな教え方や、自分の発表内容についても学生に紹介し、学生の英語力アッ プに力を注ぐ。 その他: 今回の国際学会の自身の発表をベースに、学会の他の研究者らの発表も参考にし、内容 を更に充実させ、日本国内の英語教育学会で発表したい。その後論文執筆に取り込む予 定。

① 現地の写真

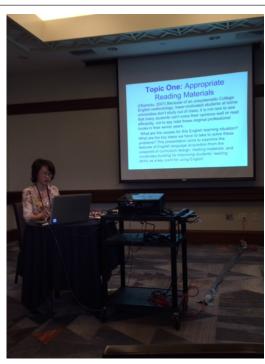
学会/会議:会場風景 調査:調査地の様子 セミナー:会場の様子



学会/会議:発表時(聴講時)の様子 調査:調査実施時の様子 セミナー:聴講時の様子







学会/会議:運営担当研究者あるいは知己の研究者 調査:研究協力者 セミナー:主催者/講師



